

学生支援の現場から

茨城大学
学生に元気を与える学生支援

横山 勝
(学務部学生生活課長)

本学は学生支援の目標を「多様な学生の要請に対応し、学生に対する学習・生活・相談等の支援・サービス機能の向上と、指導体制の整備を図り、組織的・総合的な学生支援を推進するとともに、点検評価を行ってその改善に努める。」と定め、学生が幅広い教養と専門知識の修得とともに豊かな人間性と社会性を身につけることができる、「入学して良かった大学」、「卒業して良かった大学」を目指して、入学から卒業までの学生生活サイクルに応じた様々な支援を行っていますが、その中から学生を元気にする取組をいくつか紹介します。

①本学には地域貢献を推進する社会連携事業会が設置されており、その事業のひとつに学生の自主企画事業を応援する制度があります(学生地域参画プロジェクト)。二〇年度は一四団体が応募し、選考の結果九団体のプロジェクト

が採択され活動経費が交付されました。その一つに「茨城県における地域振興を目指した地質情報活用プロジェクト」があります。これは地域の地質情報を観光情報化することで地質学を生かした地域の活性化支援を目指しており、地質観



観光マップ・表



観光マップ・裏



学生地域参画プロジェクト・看板

光マップを作成するというものです。また他にも国民文化祭に参加した農村歌舞伎の舞台組み立てボランティアなどがあり、優秀なプロジェクトには学長表彰するなど、学生達の取組を応援しています。学生地域参画プロジェクトは学生たちにとっても評判が良く、大学としてもさらに発展するよう願っているものです。

②広報誌「C-mail」は大学と学生たちが共同で作るものであり、企画から取材、発行まで学生たちのアイデアと努力で年二回発行されています。学部から選出された教員と職員も編集部会に入り、学生たちと意見を交わしながらより良い「C-mail」を作り上げるよう学生への支援を行っています。学生たちは授業の合間に編集室に集まり企画の打



C-mail

合せや取材の相談をするなど懸命に取り組んでいます。更に紙面を充実させるために必要な編集部員個々の取材・編集スキルの向上を目指して教職員一丸となってサポートしています。

③また、本学では学生支援の充実のために、二〇年二月に学生センターをオープンさせました。学生センターの玄関にはキャンピー(庇)が設置され、学生支援のシンボルともなっています。学生センターの玄関ロビー、ライトコート、キャンピー広場などはサークル活動の発表の場としても提供しており、昼休み時間など音楽サークルの演奏が聞



学生センター前

こえてきたりすると、活動場所の提供ができて良かったと同時に多くのサークルが利用することを願っています。

様々な支援を通して、学生が入学してそして卒業して良かったと思える大学を目指して学生支援の現場では取り組んでいます。